



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月6日

上場会社名 株式会社第四北越フィナンシャルグループ  
 コード番号 7327 URL <https://www.dhfg.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

(氏名) 並木 富士雄  
 (氏名) 柴田 憲  
 特定取引勘定設置の有無 無

TEL 025-224-7111

配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円、小数点第1位未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	35,883	0.4	4,159	△12.9	2,519	△19.2
2020年3月期第1四半期	35,728	—	4,780	—	3,120	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 13,851百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 259百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	55.19	54.90		
2020年3月期第1四半期	68.44	68.16		

(注) 当社は2018年10月1日設立のため、2020年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%
2021年3月期第1四半期	9,363,027	417,556			4.2	
2020年3月期	8,966,437	406,453			4.3	

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 399,037百万円 2020年3月期 388,116百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。  
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	60.00	—	60.00	120.00
2021年3月期	—				
2021年3月期(予想)		60.00	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,500	△50.1	4,200	△51.2	92.01
通期	14,800	△23.7	10,500	△18.4	230.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	45,942,978 株	2020年3月期	45,942,978 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2021年3月期1Q	247,227 株	2020年3月期	297,760 株
------------	-----------	----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	45,649,100 株	2020年3月期1Q	45,594,920 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

[添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1)経営成績に関する説明	P. 2
(2)財政状態に関する説明	P. 2
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1)四半期連結貸借対照表	P. 3
(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(追加情報)	P. 7

※2021年3月期 第1四半期決算説明資料

1.【当四半期決算に関する定性的情報】

(1)【経営成績に関する説明】

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)の経常収益は、前年同期比1億54百万円増加し358億83百万円となりました。

一方、経常費用は、前年同期比7億75百万円増加し317億23百万円となりました。

以上の結果、経常利益は前年同期比6億20百万円減少し41億59百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比6億1百万円減少し25億19百万円となりました。

(2)【財政状態に関する説明】

当第1四半期連結会計期間末における財政状態につきまして、総資産は前連結会計年度末比3,965億円増加し9兆3,630億円となりました。また、純資産は前連結会計年度末比111億円増加し4,175億円となりました。

主要勘定の残高につきましては、預金は前連結会計年度末比3,657億円増加し7兆7,389億円となりました。また、譲渡性預金は前連結会計年度末比87億円減少し2,434億円となりました。

貸出金は前連結会計年度末比1,293億円減少し4兆9,539億円となりました。

有価証券は前連結会計年度末比1,755億円増加し2兆5,017億円となりました。

(3)【連結業績予想などの将来予測情報に関する説明】

2021年3月期の連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症の影響等を含め、2020年5月15日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、今後、新型コロナウイルス感染症の影響等に変化が生じ、業績予想に修正の必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

2. 【四半期連結財務諸表及び主な注記】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	1,236,293	1,613,720
コールローン及び買入手形	4,788	—
買入金銭債権	13,288	12,280
商品有価証券	3,181	3,168
有価証券	2,326,206	2,501,757
貸出金	5,083,319	4,953,930
外国為替	20,472	18,224
その他資産	189,980	176,525
有形固定資産	56,534	58,109
無形固定資産	17,222	16,926
退職給付に係る資産	2,697	2,523
繰延税金資産	16,379	11,847
支払承諾見返	19,178	19,175
貸倒引当金	△23,104	△25,161
資産の部合計	8,966,437	9,363,027
<b>負債の部</b>		
預金	7,373,174	7,738,973
譲渡性預金	252,208	243,420
コールマネー及び売渡手形	2,176	2,154
売現先勘定	72,437	49,615
債券貸借取引受入担保金	326,131	300,385
借入金	399,232	474,908
外国為替	289	592
信託勘定借	126	152
その他負債	91,860	94,936
賞与引当金	2,331	276
役員賞与引当金	130	—
退職給付に係る負債	8,945	8,691
役員退職慰労引当金	39	26
睡眠預金払戻損失引当金	2,418	2,324
システム解約損失引当金	412	412
偶発損失引当金	1,265	1,219
特別法上の引当金	11	10
繰延税金負債	2,377	2,959
再評価に係る繰延税金負債	5,236	5,236
支払承諾	19,178	19,175
負債の部合計	8,559,984	8,945,471

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	87,670	87,667
利益剰余金	266,161	265,942
自己株式	△1,023	△849
株主資本合計	382,809	382,761
その他有価証券評価差額金	20,596	30,318
繰延ヘッジ損益	△14,856	△13,809
土地再評価差額金	6,417	6,417
退職給付に係る調整累計額	△6,850	△6,650
その他の包括利益累計額合計	5,307	16,275
新株予約権	767	596
非支配株主持分	17,569	17,922
純資産の部合計	406,453	417,556
負債及び純資産の部合計	8,966,437	9,363,027

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
経常収益	35,728	35,883
資金運用収益	18,038	16,659
(うち貸出金利息)	11,847	11,475
(うち有価証券利息配当金)	6,027	5,061
信託報酬	—	0
役務取引等収益	6,707	6,450
その他業務収益	8,316	7,384
その他経常収益	2,666	5,387
経常費用	30,948	31,723
資金調達費用	1,560	1,023
(うち預金利息)	273	235
役務取引等費用	2,280	2,152
その他業務費用	5,959	7,094
営業経費	17,625	17,815
その他経常費用	3,522	3,638
経常利益	4,780	4,159
特別利益	—	0
金融商品取引責任準備金取崩額	—	0
特別損失	2	8
固定資産処分損	2	8
税金等調整前四半期純利益	4,777	4,151
法人税、住民税及び事業税	1,323	1,298
法人税等調整額	150	176
法人税等合計	1,474	1,475
四半期純利益	3,303	2,676
非支配株主に帰属する四半期純利益	182	157
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,120	2,519

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	3,303	2,676
その他の包括利益	△3,043	11,175
その他有価証券評価差額金	△551	9,928
繰延ヘッジ損益	△2,614	1,046
退職給付に係る調整額	122	200
四半期包括利益	259	13,851
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	246	13,488
非支配株主に係る四半期包括利益	13	363



(3) 【四半期連結財務諸表に関する注記事項】

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、経済、企業活動に広範な影響を与える事象であり、その影響は今後一定期間は継続すると想定しております。経済活動の収縮から一時的に信用状況の悪化による影響が出てくる一方で、各種経済対策などによる信用悪化の抑制効果も見込まれるとの仮定をおり、貸倒引当金の見積方法の変更は実施しておりません。

ただし、今後の感染状況や収束時期等には多くの不確実性を含んでおり、追加的な損失発生などにより連結財務諸表に影響を与える可能性があります。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定については、前連結会計年度の有価証券報告書における「貸倒引当金の計上基準」の(追加情報)に記載した内容から重要な変更はありません。

2021年3月期 第1四半期決算説明資料



【 目 次 】

1. 損益の状況	(1) 第四北越フィナンシャルグループ連結	1
	(2) 2行合算	2
2. 金融再生法開示債権	2行合算	3
3. 有価証券の状況	(1) 第四北越フィナンシャルグループ連結	3
	(2) 2行合算	3
4. 預金等、貸出金残高	2行合算	4
5. 投資信託・公共債等預かり資産残高	2行合算	4

- (注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
2. 2行合算は第四銀行、北越銀行の単体計数を単純合算した計数です。
3. 前年同期比、2019年6月末比欄の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。
4. 自己資本比率につきましては現在算出中につき確定次第、開示致します。

## 1. 損益の状況

### (1) 第四北越フィナンシャルグループ連結

○連結粗利益…資金利益が8億円、役員取引等利益が1億円、その他業務利益が20億円それぞれ減益となったことから、前年同期比30億円減益の202億円となりました。

○経常利益…株式等関係損益が30億円増加したものの、連結粗利益の減益に加え、営業経費が1億円、貸倒償却引当費用が4億円それぞれ増加したこと等により、前年同期比6億円減益の41億円となりました。

○親会社株主に帰属する四半期純利益…以上の結果、前年同期比6億円減益の25億円となりました。

		2021年3月期		2020年3月期	(参考) 2020年3月期
		第1四半期	前年同期比	第1四半期	
連結粗利益	1	20,225	△3,036	23,261	88,433
資金利益	2	15,636	△841	16,477	61,999
役員取引等利益	3	4,298	△129	4,427	19,640
その他業務利益	4	290	△2,066	2,356	6,793
営業経費	5	17,815	190	17,625	69,863
貸倒償却引当費用	6	2,467	412	2,055	7,240
貸出金償却	7	405	△226	631	2,009
個別貸倒引当金繰入額	8	1,844	729	1,115	4,313
一般貸倒引当金繰入額	9	89	△131	220	542
延滞債権等売却損	10	—	—	—	—
その他	11	128	42	86	375
貸倒引当金戻入益	12	—	—	—	—
償却債権取立益	13	318	213	105	452
株式等関係損益	14	3,422	3,003	419	6,676
その他	15	477	△197	674	952
経常利益	【65億円】 16	4,159	△621	4,780	19,410
特別損益	17	△7	△5	△2	132
税金等調整前四半期(当期)純利益	18	4,151	△626	4,777	19,542
法人税、住民税及び事業税	19	1,298	△25	1,323	6,988
法人税等調整額	20	176	26	150	△992
四半期(当期)純利益	21	2,676	△627	3,303	13,546
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益	22	157	△25	182	670
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益【42億円】	23	2,519	△601	3,120	12,875

(注) 1. 連結粗利益 = (資金運用収益 - (資金調達費用 - 金銭の信託運用見合費用))  
+ (役員取引等収益 - 役員取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

2. 【 】は2020年度第2四半期予想値

(参考)

		2021年3月期		2020年3月期	(参考) 2020年3月期
連結業務純益	24	2,636	△2,990	5,626	19,100

(注) 連結業務純益 = 第四銀行業務純益 + 北越銀行業務純益 + その他の会社の業務純益  
+ 関連会社業務純益 × 持分 - 内部取引

(2) 2行合算(第四銀行+北越銀行)

○業務粗利益・・・マイナス金利政策の長期化による有価証券利息の減少を主因に資金利益が19億円減益となったほか、役務取引等利益が1億円、その他業務利益が19億円それぞれ減益となったことから、前年同期比41億円減益の186億円となりました。

○実質業務純益・・・業務粗利益の減益に加え、経費が1億円増加したことにより前年同期比42億円減益の22億円となりました。なお、国債等債券損益を控除したコア業務純益は前年同期比29億円減益の34億円となりました。

○経常利益・・・株式等関係損益が34億円増加したものの、実質業務純益の減益に加え、ネット信用コストが4億円増加したこと等により前年同期比14億円減益の45億円となりました。

○四半期純利益・・・以上の結果、前年同期比15億円減益の31億円となりました。

(単位:百万円)

		2021年3月期		2020年3月期	(参考) 2020年3月期
		第1四半期	前年同期比	第1四半期	
業務粗利益	1	18,667	△4,118	22,785	82,202
(コア業務粗利益)	2	(19,864)	(△2,792)	(22,656)	(86,329)
資金利益	3	16,259	△1,999	18,258	65,858
うち投資信託解約損益	4	—	△246	246	—
役務取引等利益	5	2,851	△144	2,995	13,944
その他業務利益	6	△442	△1,973	1,531	2,399
うち国債等債券損益	7	△1,196	△1,324	128	△4,126
経費(除く臨時処理分)	8	16,391	181	16,210	64,043
うち人件費	9	7,993	△134	8,127	32,061
うち物件費	10	7,240	151	7,089	27,893
実質業務純益	11	2,276	△4,299	6,575	18,159
(コア業務純益) 【93億円】	12	(3,473)	(△2,973)	(6,446)	(22,286)
(コア業務純益(除く投資信託解約損益))	13	(3,473)	(△2,726)	(6,199)	(22,286)
一般貸倒引当金繰入額①	14	125	△86	211	546
業務純益	15	2,150	△4,213	6,363	17,613
臨時損益	16	2,375	2,719	△344	3,228
うち不良債権処理額②	17	2,213	722	1,491	5,684
(貸倒償却引当費用①+②)	18	(2,339)	(636)	(1,703)	(6,230)
うち貸倒引当金戻入益	19	—	—	—	—
うち偶発損失引当金戻入益	20	47	18	29	—
うち償却債権取立益	21	316	213	103	444
うち株式等関係損益	22	4,207	3,425	782	9,066
経常利益 【62億円】	23	4,526	△1,493	6,019	20,842
特別損益	24	△8	△6	△2	△85
うち固定資産処分損益	25	△8	△6	△2	△67
うち減損損失	26	—	—	—	18
税引前四半期(当期)純利益	27	4,517	△1,500	6,017	20,756
法人税、住民税及び事業税	28	1,033	△16	1,049	5,419
法人税等調整額	29	382	108	274	△13
四半期(当期)純利益 【45億円】	30	3,101	△1,591	4,692	15,350

(参考)

ネット信用コスト 14+17-19-20-21	31	1,975	406	1,569	5,786
-------------------------	----	-------	-----	-------	-------

- (注) 1. コア業務粗利益=業務粗利益-国債等債券損益  
 2. 実質業務純益=業務粗利益-経費(除く臨時処理分)  
 3. コア業務純益=コア業務粗利益-経費(除く臨時処理分)  
 4. 【 】は2020年度第2四半期予想値

## 2. 金融再生法開示債権

2行合算(第四銀行+北越銀行)

○不良債権額は前年同期比148億円増加し875億円となり、不良債権比率も0.29%上昇の1.70%となりました。  
 ○破産更生等債権は横ばい、危険債権は179億円増加、要管理債権は31億円減少いたしました。

(単位:億円) (参考)(単位:億円)

	2020年6月末		2019年6月末	2020年3月末
		2019年6月末比		
破産更生等債権	74	0	74	81
破綻先債権	22	1	21	23
実質破綻先債権	52	0	52	58
危険債権	749	179	570	625
要管理債権	51	△31	82	42
小計(A)	875	148	727	750
正常債権	50,547	△194	50,741	51,973
債権額合計(B)	51,423	△46	51,469	52,723
不良債権比率(A)÷(B)	1.70%	0.29%	1.41%	1.42%

## 3. 有価証券の状況

○第四北越フィナンシャルグループ  
 有価証券の評価差額は、満期保有目的で5億円、その他有価証券で465億円の含み益となりました。  
 ○2行合算  
 有価証券の評価差額は、満期保有目的で5億円、その他有価証券で508億円の含み益となりました。

### (1) 第四北越フィナンシャルグループ連結

(単位:億円)

(参考)

(単位:億円)

	2020年6月末				2019年6月末				2020年3月末			
	貸借対照表 計上額	評価差額			貸借対照表 計上額	評価差額			貸借対照表 計上額	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的	559	5	5	0	659	14	14	0	599	7	7	0
その他有価証券	24,372	465	849	384	24,486	609	1,055	446	22,573	322	799	477
株式	1,127	310	397	87	1,332	366	455	89	1,146	222	345	123
債券	14,586	78	124	46	14,382	259	263	3	14,031	123	148	24
その他	8,658	75	327	251	8,771	△16	336	353	7,395	△23	305	329
うち外国債券	4,834	277	279	1	4,421	211	216	4	3,870	256	260	4

### (2) 2行合算(第四銀行+北越銀行)

(単位:億円)

(参考)

(単位:億円)

	2020年6月末				2019年6月末				2020年3月末			
	貸借対照表 計上額	評価差額			貸借対照表 計上額	評価差額			貸借対照表 計上額	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的	559	5	5	0	659	14	14	0	599	7	7	0
その他有価証券	24,254	508	887	379	24,385	707	1,143	435	22,472	393	851	458
株式	1,009	339	401	62	1,231	435	493	58	1,045	276	360	84
債券	14,586	106	151	45	14,382	299	302	3	14,031	154	178	24
その他	8,658	62	334	271	8,771	△27	346	373	7,395	△37	312	349
うち外国債券	4,834	279	281	1	4,421	213	218	5	3,870	258	262	4

#### 4. 預金等、貸出金残高

2行合算(第四銀行+北越銀行)

○貸出金残高は、県内では新型コロナウイルスに伴う資金繰り支援などによって中小企業向けを中心に増加したものの、県外では大企業向けが減少したことから、全体では前年同期比58億円減少し、4兆9,790億円となりました。  
 ○譲渡性預金を含めた預金等残高は、前年同期比4,408億円増加し、8兆136億円となりました。

(単位:億円) (参考)(単位:億円)

	2020年6月末		2019年6月末	2020年3月末
		2019年6月末比		
貸出金残高	49,790	△ 58	49,848	51,094
うち県内貸出金	37,831	573	37,258	38,621
うち中小企業等貸出	32,620	973	31,647	32,507
うち消費性貸出残高	13,220	401	12,819	13,157
預金等残高	80,136	4,408	75,728	76,580
うち県内預金等残高	78,378	4,466	73,912	74,904
うち個人預金等残高	52,544	2,572	49,972	50,352

(注) 預金等残高=預金+譲渡性預金

#### 5. 投資信託・公共債等預かり資産残高

2行合算(第四銀行+北越銀行)

○預かり資産残高は前年同期比383億円減少し、8,313億円となりました。  
 保険が158億円増加したものの、投資信託が341億円、公共債が200億円それぞれ減少いたしました。

(単位:億円) (参考)(単位:億円)

	2020年6月末		2019年6月末	2020年3月末
		2019年6月末比		
預かり資産残高	8,313	△ 383	8,696	8,153
投資信託	1,688	△ 341	2,029	1,604
公共債	916	△ 200	1,116	933
保険	5,708	158	5,550	5,615

以上